

令和2年度 林業普及週間現地情報 (12/21～12/25)

森林管理課

早生樹育林等技術研修の開催

12月21日(月)

八重山農林水産振興センター農林水産整備課は、国立研究開発法人 森林研究・整備機構 林木育種センター 西表熱帯林育種技術園にて早生樹育林等技術研修を開催し、当研修には石垣市、竹富町、与那国町の職員及び佐藤林業ら計5名が参加した。

同園の千吉良園長に早生樹等が植栽してある園内の展示ゾーンを案内していただき、オオニンジンボクなど6種類の早生樹の成長の早さや強風による曲がり・折れ被害の有無などの話を伺った。

早生樹等が植栽してある展示ゾーンに隣接する試験地では、フクギのさし木の実用化に向けたさし木苗の植栽試験を行っており、同時に植栽した実生苗との比較検証を進めているとのことであった。

その後、育苗施設内で西表小中学校内等のセンダンから接ぎ木した苗や八重山の希少樹種の苗の育苗状況について説明を受けた。

同園庁舎内では、様々な木材のサンプルや早生樹の材を利用した椅子や机などを見学した。

今回学んだ知見を踏まえ、八重山地域におけるセンダン等の早生樹育林・育種技術の確立につなげたい。

(オオニンジンボク：石垣島、西表島に分布するクマツヅラ科の常緑高木。個体数は極めて少なく、絶滅危惧IB類に指定されている。)



オオニンジンボク



早生樹見学



育苗施設内見学



早生樹（モルッカネム）の椅子



フクギさし木試験地見学



木材サンプル見学

(報告者：八重山農林水産振興センター 金城)